

おわりに

本研究では、ことばの遅れを主訴とする子どもの実態と指導内容・方法について今日的視点で再整理を行い、実態を捉える視点と指導内容・方法を整理する視点を提言した。また、幼児ことばの教室等、ことばの遅れを主訴とする子どもたちを早期から支援する場について、その実態と地域における役割について明らかにすることができた。

研究実施にあたっては、数多くのことばの教室の先生方にご協力いただき、多くの研究資料と示唆をいただいた。ここに改めて感謝を申し上げたい。

事例研究では、言語障害教育において豊富な経験のある研究協力者や研究協力機関に全面的な協力をいただいた。第3章にまとめた事例研究は一つ一つの事例から学ぶ事が多く、深い実践内容であった。また研究協力者、研究協力機関の先生方との4回の研究協議会と3回の事例検討会では、密度の濃い協議と研究への提言がなされ、それらをこの研究成果報告書に反映することができた。

ワークショップによる情報収集では、4地域91名のことばの教室の先生方に協力をいただいた。どのワークショップも、日々の実践を出し合いながら熱のこもった議論がなされ、学び合う姿勢にあふれていた。第4章の資料はこうした議論から得たものである。

実地調査では、8教室に訪問させていただいた。制度のない中で、幼児の言語指導を行い続けている先生方のお話には、子どもや保護者への思いが詰まっていた。第6章の資料は、こうした先生方から得たものである。

大学の研究者のお二人には研究協議会や事例検討会で貴重な助言をいただいた。研究のとりまとめにあたっても多く示唆をいただき、第7章に提言をいただいた。

このように、本研究はことばの教室の先生方の日々の実践を研究資料の中心としてまとめたものであり、ことばの教室の先生方に日々の実践で活用いただけるものになるよう心がけたつもりである。ことばの教室の先生方をはじめ、ことばの遅れを主訴とする子どもへの支援に関心のある方々にお読みいただき、活用いただくことを願うとともに、忌憚のないご意見をいただければ幸いである。

最後に、事例研究において、研究分担者の参観と指導に関する資料の提供をお許しいただいたお子さま方と保護者のみなさまに心より感謝申し上げます。

研究代表者 企画部 主任研究員 久保山 茂樹

専門研究B

ことばの遅れを主訴とする子どもに対する
早期からの指導の充実に関する研究
—子どもの実態の整理と指導の効果の検討—

平成 24 年度～平成 25 年度

研究成果報告書

研究代表者 久保山 茂樹

平成 26 年 3 月

著作 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

発行 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

〒239-8585

神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1 番 1 号

TEL : 046-839-6803

FAX : 046-839-6918

<http://www.nise.go.jp>

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。